

# 研究紀要 28

## 目 次

- 津島 秀章・岩崎 泰一…………… 1  
 武尊山産黒色安山岩の消長  
 —石材資源の動的理解に向けて—
- 関口 博幸……………17  
 群馬県内出土の黒曜石製男女倉型有樋尖頭器の原産地分析と  
 運搬形態の推定
- 橋本 淳……………33  
 中部地方における縄紋早期沈線紋土器の編年  
 —八ッ場ダム関連遺跡出土資料の位置付け—
- 関根 慎二……………53  
 諸磯様式の浅鉢について  
 —群馬県域の様相から—
- 山口 逸弘……………65  
 「勝坂系」土器に関する再検討
- 洞口 正史・外山 政子・大木紳一郎・有山 径世…85  
 土器の使用痕跡(スス・コゲ)観察と調理方法復原へのアプローチ
- 齋藤 聡…………… 109  
 古墳時代後期における集落とその周辺の景観  
 —黒井峯遺跡周辺における土地利用のあり方から—
- 高島 英之…………… 125  
 郡名記載墨書・刻書土器小考  
 —群馬県内出土事例を中心に—
- 神谷 佳明…………… 145  
 双耳杯について  
 —東日本における分布・変遷、用途についての検討—
- 飯島 義雄…………… 165  
 浅間Bテフラ直下水田の総合的再検討に向けての予察  
 —プラント・オパール分析による放棄時期の問題提議を受けて—
- 山田 精一…………… 185  
 「学校教育と埋蔵文化財行政の連携」における体験学習の現状と課題  
 —体験学習の効果的な教育システムの構築—

2010

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団